

女川2号保安規定 指摘事項に対する回答整理表

No.	指摘日	資料番号	該当頁	コメント内容	回答内容	資料等への反映箇所	回答状況	備考
1	2022/7/13	保-0002	5	保安規定の第2編(廃止措置段階)の変更箇所について、変更概要、関連法令及び説明事項の抽出結果等を説明すること。			今後回答	
2	2022/7/13	保-0002	5~15	主な保安規定変更箇所と説明事項の抽出において、各種判定値等を変更した条文が漏れなく抽出されているか確認し、説明すること。	「7.その他保安規定変更箇所」に記載している条文について、実施事項の追加・変更、判断基準の変更等、主旨に変更のある条文を表に記載したことが分かるようリード文に明記した。	保-0002(改2)新規制基準に係る保安規定変更認可申請の補正について_p19	2022/8/31 回答済	
3	2022/7/13	保-0002	10	設計及び工事計画認可申請書に記載のある地下水位低下設備の屋外排水路の閉塞について、保安規定上どのように整理しているか説明すること。			今後回答	
4	2022/7/13	保-0002	42	直流駆動低圧注水系ポンプのLCO設定の考え方と有効性評価との関連性について、説明すること。	No.10に合わせて回答。	保-0004-2.原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-1,2,3,4,5,12抜粋】p57~93	2022/8/24 回答済	
5	2022/7/13	保-0002	46	格納容器内の窒素置換による火災防護対策を踏まえた格納容器の酸素濃度のLCO適用期間変更について、LCO適用期間から除外している制御棒全挿入後の原子炉の高温停止期間の実績を説明すること。			今後回答	
6	2022/7/27	保-0004	14	高圧代替注水系(中央制御室からの遠隔起動)に係る確認事項におけるポンプの流量について、設計確認値と公称値の使い分けの考え方を説明すること。	重大事故等対処設備は設工認の設計確認値から設定していることから、重大事故等対処設備で考え方を統一し、高圧代替注水系についても設計確認値から流量、揚程を設定することとする。	保-0004-2.原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-1,2,3,4,5,12抜粋】p16, 22~26	2022/8/24 回答済	
7	2022/7/27	保-0004	25	動作可能な主蒸気安全弁が所要数を満足していない場合の要求される措置として、先行プラントでは、高圧炉心注水系2系列が動作可能であることを確認していることに対し、1系列のみ動作可能であることを確認するとしている考え方を整理して説明すること。	先行プラントも同様に、動作可能な主蒸気安全弁が所要数を満足していない場合の要求される措置として、主蒸気逃がし安全弁(自動減圧機能付き)が少なくとも1個以上、動作不能となっていることから、保安規定第39条(非常用炉心冷却系その1)の「自動減圧系の弁の1つが動作不能の場合」における要求される措置に準じて、確認する設備及び系列数を決めている。 確認する設備等については、柏崎では高圧炉心注水系2系列及び原子炉隔離時冷却系、女川では高圧炉心スプレイ系(1系列)及び原子炉隔離時冷却系となっており、ECCSの構成が異なることから、相違が生じている。	保-0004-2.原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-1,2,3,4,5,12抜粋】p32, 36~44	2022/8/24 回答済	

No.	指摘日	資料番号	該当頁	コメント内容	回答内容	資料等への反映箇所	回答状況	備考
8	2022/7/27	保-0004	3, 20	運転上の制限における動作可能であるべきチャンネル数について、論理回路毎に設定している場合とそうでない場合の使い分けの考え方を整理して説明すること。	運転上の制限における動作可能であるべきチャンネル数については、BWR保安規定基本方針に従い、チャンネル数の設定を行っている。具体的には、設計基準事故対処設備(保安規定第27条(計測および制御設備))と同様に入力される全チャンネルを対象としている。 66-1-3の自動減圧系作動阻止機能および66-3-1の代替自動減圧機能については、A系論理およびB系論理に対してそれぞれ異なる設備からの信号が入力されるため、「論理毎」と記載をしている。 一方、66-1-1の代替制御棒挿入機能および66-1-2の代替原子炉再循環ポンプトリップ機能については、A系論理およびB系論理に対してそれぞれ同じ設備から信号が入力されることから「論理毎」の記載を行っていない。	保-0004-2.原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-1.2.3.4.5.12抜粋】_p.2, 5, 12, 13, 27	2022/8/24 回答済	
9	2022/8/2	保-0004-1	全体	LCO発生時の要求される措置について、LCO判断者と要求される措置の実施者との関係を整理し、先行審査プラントとの差異理由とともに説明すること。	LCOに対する逸脱判断は各課長が行い、確認事項の結果がLCO逸脱となった場合、発電管理課長、防災課長に報告する。要求される措置は発電課長、防災課長が実施する。 LCOに対する逸脱判断者や要求される措置の実施者にプラント間で差はあるが、各社の業務所掌の違いによるものと考えられ、LCOを逸脱した場合に、要求される措置の実施者がその情報を把握することが出来るという点で、各社同等である。	保-0004-2.原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-1.2.3.4.5.12抜粋】_p147～149	2022/8/24 回答済	
10	2022/8/2	保-0004-1	14	直流駆動低圧注水系ポンプのLCOが適用される原子炉の状態について、「保安規定変更に係る基本方針(BWR)について」における考え方を踏まえて整理し説明すること。	低圧代替注水系(常設)(直流駆動低圧注水系ポンプ)におけるLCOが適用される原子炉の状態について、基本方針を踏まえ下記の通り記載を見直した。 ・「低圧代替注水系(常設)」は、「低圧代替注水系(常設)(復水移送ポンプ)」及び「低圧代替注水系(常設)(直流駆動低圧注水系ポンプ)」からなる。 ・「低圧代替注水系(常設)(復水移送ポンプ)」は、原子炉運転中及び停止中に機能要求があり、基本方針を踏まえ、機能を代替するDBA設備を規定する保安規定第39条及び第40条に合わせて「適用される原子炉の状態」を設定している。 ・低圧代替注水系(常設)(直流駆動低圧注水系ポンプ)は、低圧代替注水系(常設)(復水移送ポンプ)及び低圧代替注水系(可搬型)では炉心損傷の防止ができない原子炉運転中(原子炉の状態が「運転、起動及び高温停止」に相当)の全交流動力電源喪失(TBP)において必要となる。 したがって、「低圧代替注水系(常設)(直流駆動低圧注水系ポンプ)」について、基本方針を踏まえ、機能を代替するDBA設備は、原子炉運転中の残留熱除去系(低圧注水モード)及び低圧炉心スプレイ系であり、LCOが適用される原子炉の状態は、保安規定39条(非常用炉心冷却系その1)と同期間の「運転、起動及び高温停止」とする。	保-0004-2.原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-1.2.3.4.5.12抜粋】_p57～93	2022/8/24 回答済	

No.	指摘日	資料番号	該当頁	コメント内容	回答内容	資料等への反映箇所	回答状況	備考
11	2022/8/2	保-0004-1	15	全交流動力電源喪失(TBP)の概要及びその際のプラント状態について説明するとともに、当該プラント状態における低圧注水系(RHR, LPCS)及び低圧代替注水系(MUWC, 直流駆動低圧注水系ポンプ, 可搬型等)の待機状態及び要求される措置の関係について説明すること。	全交流動力電源喪失(TBP)の概要、プラント状態について、追記した。 また、「低圧代替注水系」について、低圧注水系(RHR, LPCS)との待機、要求関係を明確化した。(No.10に合わせて回答)	保-0004-2_原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-1,2,3,4,5,12抜粋】_p57~93	2022/8/24 回答済	
12	2022/8/2	保-0004-1	11	低圧代替注水系(可搬型)に係るLCO発生時の要求される措置A2の「同等な機能を持つSA設備」について、直流駆動低圧注水系ポンプが含まれていない考え方を説明すること。	適用される原子炉の状態が「運転、起動及び高温停止」において、低圧代替注水系(常設)(復水移送ポンプ)及び低圧代替注水系(常設)(直流駆動低圧注水系ポンプ)が必要となることを踏まえ、低圧代替注水系(可搬型)の「同等な機能を持つSA設備」に低圧代替注水系(常設)(直流駆動低圧注水系ポンプ)を追加する。	保-0004-2_原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-1,2,3,4,5,12抜粋】_p55	2022/8/24 回答済	
13	2022/8/2	保-0004-1	52	可搬型窒素ガス供給装置に係るLCO発生時の確認事項について、遠隔手動弁操作設備を用いた弁の確認の要否について整理し説明すること。	遠隔手動弁操作設備を期待していることから、原子炉格納容器フィルタベント系(66-5-1)と同様に、(1)運転上の制限に遠隔手動弁操作設備を含むことを追加し、(2)確認事項に遠隔手動手動弁操作設備を用いた弁が動作可能であることの確認を追加した。	保-0004-2_原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-1,2,3,4,5,12抜粋】_p105	2022/8/24 回答済	
14	2022/8/24	保-0004-2	131,132	所内常設蓄電式直流電源設備である125V充電器、蓄電池が動作不能の場合の要求される措置について、動作不能となる設備毎に要求される措置を整理し、先行審査プラントとの記載の相違を踏まえ説明すること。	「所内常設蓄電式直流電源設備」、「常設代替直流電源設備」及び「可搬型代替直流電源設備」の動作不能の場合に要求される措置について、先行審査プラントとの相違を踏まえ、動作不能となる設備毎に整理した結果、再検討案の通り修正する。	保-0004(改1)_原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)_p193, 194, 198, 199, 201, 202, 203, 208~	今回回答	
15	2022/8/24	保-0004-2	142	「代替所内電気設備」と「緊急時対策所の代替電源設備」の関係性について整理し、説明すること。	女川の「緊急時対策所の代替電源設備」はガスタービン発電機及び電源車により多様性を有することから、「66-12-1のうちガスタービン発電機」並びに「66-12-6のうちガスタービン発電機接続盤および緊急用高圧母線2F系」が動作不能の場合に「66-16-2 緊急時対策所の代替電源設備」の運転上の制限も確認する注釈を追記した。	保-0004-4_原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-4,8,10,11,12,13,14,15,17,18抜粋】_p74,97	2022/9/21 回答済	
16	2022/8/31	保-0004-3	97	【66-16-2】 緊急時対策所軽油タンクから電源車などへの給油方法は自重での給油するとのことであるが、軽油タンク及び供給先の燃料タンク高さ、配管の圧損などを踏まえて、必要容量を給油できる根拠を説明すること。	緊急時対策所軽油タンクから電源車(緊急時対策所用)燃料タンクへの燃料供給について、各々の高さ関係を示すことに加えて、自重による燃料供給量が電源車(緊急時対策所用)の燃料消費量を上回ることから、電源車(緊急時対策所用)を正常に運転することができることを66-16-2の別紙に追加した。 また、緊急時対策所軽油タンクレベルの所要値は、タンク2基の各々の軽油タンクレベルであることを「66-16-2 緊急時対策所の代替電源設備」の注釈に追記し、タンクの必要数について明記した。	保-0004(改1)_原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)_p289, 300~306	今回回答	

No.	指摘日	資料番号	該当頁	コメント内容	回答内容	資料等への反映箇所	回答状況	備考
17	2022/8/31	保-0004-3	98	【66-16-2】 緊急時対策所の代替電源設備が動作不能の場合の要求される措置A1, A2について、確認する設備を整理し説明すること。	緊急時対策所の代替電源設備が動作不能の場合の要求される措置A1の自主対策設備とは、予備電源車及び電源車接続口(緊急時対策建屋南側)をいう。措置A2の代替措置とは、発電機、ケーブル、タンクローリ、ドラム缶、トラックの補充等をいう。措置A1とA2では設備の違いはあるものの、給電機能を確保するという観点で同様の行為であることから、A1, A2を統合した記載表現に修正する。	保-0004(改1)原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)_p290, 291	今回回答	
18	2022/8/31	保-0004-3	98	【66-16-2】 緊急時対策所の代替電源設備が動作不能の場合の要求される措置について、ガスタービン発電機が動作可能であることの確認の必要性について検討すること。	緊急時対策所の代替電源設備が動作不能の場合の要求される措置について、代替電源設備は多様性を持たせた設計としていることを踏まえ、ガスタービン発電機又は電源車(緊急時対策所用)が動作可能であることの確認を行うことを要求される措置に追記した。	保-0004(改1)原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)_p290, 291	今回回答	
19	2022/8/31	保-0004-3	113~117	【66-19-1】 大容量送水ポンプ(タイプI)が動作不能の場合の要求される措置について、条件A~Dを場合分けして記載する必要性について整理し説明すること。	大容量送水ポンプ(タイプI)が動作不能の場合の要求される措置について、機能ごとに動作可能な大容量送水ポンプ(タイプI)の台数及び要求される措置が異なることから、条件を分けて設定している。なお、条件設定が複雑であることから、「注水設備および水の供給設備」と「除熱設備」を分けた条件設定に修正する。	保-0004(改1)原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)_p316~319, 329~332	今回回答	
20	2022/8/31	保-0004-3	112	【66-19-1】 大容量送水ポンプ車(タイプI)の運転上の制限及び要求される措置等における大容量送水ポンプ車(タイプI)、注水用ヘッダ、ホース延長回収車、可搬型ストレーナについて、除熱及び注水等における必要数及びその考え方を整理し説明すること。	大容量送水ポンプ(タイプI, タイプII)、注水用ヘッダ、可搬型ストレーナ及びホース延長回収車の必要数及びその考え方について整理し、動作可能な数に応じて、要求される措置のどの条件に該当するかが明確となるよう注釈を追記した。また、「66-19-2 大容量送水ポンプ(タイプII)において、「大気への放射性物質の拡散抑制、航空機燃料火災への泡消火」及び「海水供給設備」に使用するホース延長回収車の台数が異なることを踏まえ、要求される措置についても「大気への放射性物質の拡散抑制、航空機燃料火災への泡消火」と「海水供給設備」とで条件を分けた記載に修正する。	保-0004(改1)原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)_p319, 320, 322~324, 333~340	今回回答	

No.	指摘日	資料番号	該当頁	コメント内容	回答内容	資料等への反映箇所	回答状況	備考
21	2022/8/31	保-0004-3	82	【66-14-1】 中央制御室換気空調系が動作不能の場合の要求される措置について、中央制御室換気空調系を代替する設備の設定の考え方を整理し説明すること。	中央制御室換気空調系は、防止・緩和設備であるため設計基準事故対処設備に該当するものがないことから、当該設備の機能が要求される重大事故等から判断し、γ設備を設定している。 当該設備は、原子炉格納容器フィルタベント系とともに使用する設備であることから、それらと同様に、残留熱除去系(低圧注水モード、格納容器スプレイ冷却モード、サブプレッションプール水冷却モード)(非常用ディーゼル発電機、原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系含む。)をγ設備として設定した。 また、γ設備の設定の考え方について、PWR電力と同様であることを確認した。 C設備については該当する設備がないため、中央制御室換気空調系を動作可能な状態に復旧するまでの完了時間をPWR電力と同様に「3日間」に修正する。	保-0004-4_原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-4,8,10,11,12,13,14,15,17,18抜粋】_p164,168~171	2022/9/21 回答済	
22	2022/9/7	保-0004-3	18	【66-9-1】 燃料プール代替注水系の確認事項について、「項目なし」としているが、当該系統について運転上の制限をどのように確認を行うか整理し説明すること。	使用済燃料プールまでの配管(常設配管)、系統構成に必要な手動弁については、保安規定第13条(巡視点検)3項に基づき、巡視点検の中で異常がないことを確認し、燃料プール代替注水系(常設配管)が動作可能であることを確認する。	保-0004(改1)_原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)_p146, 149, 155~164	今回回答	
23	2022/9/7	保-0004-3	32	【66-11-1】 「重大事故等の収束に必要な水の供給設備」の運転上の制限の適用される原子炉の状態が冷温停止、燃料交換において、復水貯蔵タンク水量の所要値を40条と66条で異なる値で管理しても、運用上問題ないことを説明すること。	第66条(66-11-1)の復水貯蔵タンク水量の所要値を下回った場合、第40条及び第66条(66-11-1)の要求される措置を実施することとなるが、各条文の要求される措置について相反しないことから、復水貯蔵タンク水量の所要値を第40条と第66条で異なる値で管理しても運用上問題ないことを確認した。	TS-77(改2)_復水貯蔵タンク水位の維持管理について_p9~13	2022/9/21 回答済	
24	2022/9/21	保-0004-4	59	【66-10-1】 大容量送水ポンプ(タイプⅡ)、泡消火薬剤混合装置及び放水砲を繋ぐホースについて、条文上の位置付けを整理して説明すること。	泡消火薬剤混合装置及び放水砲を繋ぐホースについて、当該ホースは、泡消火薬剤混合装置にて泡消火薬剤と混合した海水を放水砲に送水するために必要なホースであることから、66-10-1で管理する泡消火薬剤混合装置とセットで管理する。従って、66-10-1の系に含むホースであることを注釈に追記し、66-10-1にてLCO設定することで位置づけを明確化した。 また、当該ホースは、泡消火設備の機能に必要なホースであることから、(2)確認事項2項の泡消火薬剤混合装置のサーベイランスにて、外観点検により使用可能であることの確認を行う。 なお、1項の放水砲に使用するホースは、大気への拡散抑制設備に要求されるホースであり、大容量送水ポンプ(タイプⅡ)にて整理するホースとなる。	保-0004(改1)_原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)_p165	今回回答	

No.	指摘日	資料番号	該当頁	コメント内容	回答内容	資料等への 反映箇所	回答状況	備考
25	2022/9/21	TS-26 (改1)	9	【66-4-1, 6-1.7-1】 復水移送ポンプの1カ月に1回の定例試験における、予備機の動作確認について、機能要求を踏まえた上で定例試験の実施方針を整理し、説明すること。	復水移送ポンプは、通常3台のうち1台が運転を行っている。 復水移送ポンプについては、66-4-1, 66-6-1および66-7-1で運転上の制限を定めているが、それぞれの要求を踏まえ、復水移送ポンプの1カ月に1回の定例試験における動作確認は、予備機も含めて動作確認を行うこととしている。 具体的には、復水移送ポンプ全3台中2台の動作確認を行う場合、2台運転の全ての組合せ(3パターン)について確認を行う。また、全3台中1台の動作確認を行う場合は、3台それぞれの動作確認を行う。	TS-26(改2)重大事故等対処設備に関わるサーベイランスの実施方法及び確認について_P9, 15, 16	今回回答	
26	2022/9/21	TS-26 (改1)	17	【66-5-5, 7-2】 代替循環冷却ポンプ定例試験のラインアップにおける残留熱除去系熱交換器の通水について、機能要求を踏まえて整理し、説明すること。	代替循環冷却系は、66-5-5においては原子炉格納容器の過圧破損を防止する設備、また、66-7-2においては原子炉格納容器下部の熔融炉心を冷却する設備として運転上の制限を定めている。 重大事故等時において、原子炉格納容器の過圧破損を防止する設備として期待する場合は、残留熱除去系熱交換器バイパス弁全開で残留除去系熱交換器に通水する系統構成となる。また、原子炉格納容器下部の熔融炉心を冷却する設備として期待する場合は、残留熱除去系熱交換器バイパス弁全開で残留熱除去系熱交換器へ通水する系統構成となる。 そのため、各機能が満足していることを確認するため、代替循環冷却ポンプの定例試験においても上記の系統構成により行う。	TS-26(改2)重大事故等対処設備に関わるサーベイランスの実施方法及び確認について_P14, 17	今回回答	

女川原子力発電所2号炉保安規定 記載の適正化箇所

No.	資料番号	資料名	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
1	保-0001 (改1)	新規制基準保安規定変更に係る論点の整理について	1, 2	「図1論点の抽出フロー」の分類4(論点)の対象設備である常設代替直流電源設備及び可搬型代替直流電源設備について、250V系であることが分かるよう、記載を追加した。	2022/7/27	
2	保-0001 (改1)	新規制基準保安規定変更に係る論点の整理について	3~9	「表1.論点の整理結果」において、本申請で変更していない条文は表に記載していないことがわかるよう、表の欄外にその旨を注釈として追加した。	2022/7/27	
3	保-0002 (改1)	新規制基準に係る保安規定変更認可申請の補正について	4~15 21~28	体制の整備の概要説明で使用している「当社特有」の意味が明確になるよう、記載を見直した。 なお、「4.保安規定変更内容の整理」及び「5.主な保安規定変更箇所と説明事項の抽出」の「説明事項抽出結果」欄の記載についても、同様の観点で見直しを行った。	2022/7/27	
4	保-0002 (改1)	新規制基準に係る保安規定変更認可申請の補正について	9	「設計確認値」の意味について、「5.主な保安規定変更箇所と説明事項の抽出(5/11)」に注釈として記載した。	2022/7/27	
5	保-0002 (改1)	新規制基準に係る保安規定変更認可申請の補正について	41	「BOP閉止装置」の適用される原子炉の状態について、他設備と異なる条文であることが明確になるよう記載を見直した。	2022/7/27	
6	保-0002 (改1)	新規制基準に係る保安規定変更認可申請の補正について	41, 42	申請内容と基本方針との差異について、基本方針の変更前後で差異がどのように変わるのか明確に分かるよう、表の構成を見直した。 また、資料「保-0001_p1, 2」についても、同様の観点で見直しを行った。	2022/7/27	
7	保-0002 (改1)	新規制基準に係る保安規定変更認可申請の補正について	44, 46	第48条(格納容器の酸素濃度)について、高温停止期間が変更前後が比較できるように記載を見直した。 なお、第24条(ほう酸水注入系)についても同様に、変更前後が比較できるように記載を見直した。	2022/7/27	
8	保-0004-2	原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-1,2,3,4,5,12抜粋】	90~93	SA発生時の250V蓄電池負荷が直流駆動低圧注水系ポンプであることが分かるよう設工認資料を追加した。	2022/8/24	
9	TS-25	LCO,AOTおよびサーベイランスの設定	258	各系統のLCOの設定範囲について、66条(SA設備)の説明に合わせ、「TS-25(LCO,AOTおよびサーベイランスの設定)」の系統概要図を用いて説明した。	2022/9/28	
10	保-0003	新規制基準保安規定審査スケジュール(案)	1	特重設置許可でLCO対象設備に影響する場合の扱いを整理のうえ、別途説明する。	今後対応	

No.	資料番号	資料名	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
11	保-0001	新規制基準保安規定変更に係る論点の整理について	2	「論点の抽出フロー」Step2の菱形内の記載について、基本方針に記載のない条文の整理を明確化した。	2022/8/31	
12	保-0004-2	原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-1,2,3,4,5,12抜粋】	57～93	「低圧代替注水系(常設)(直流駆動低圧注水系ポンプ)」について、女川の「低圧代替注水系」の設備構成を踏まえ「LCOが適用される原子炉の状態」を整理した。	2022/8/24	
13	保-0004-2	原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-1,2,3,4,5,12抜粋】	2	差異理由に記載の「保安規定の基本方針」について、基本方針の参照箇所が分かるように該当するページを具体的に記載した。 また、先行との差異についても明確となるよう記載に記載した。	2022/8/24	
14	保-0004-2	原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-1,2,3,4,5,12抜粋】	5, 6	略語で記載している箇所は正式名称で記載に見直した。また、設備による差異について、ABWRとの設備構成や電源構成による差異であるなど、その理由を差異理由に追記した。	2022/8/24	
15	保-0004-2	原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-1,2,3,4,5,12抜粋】	8	女川特有の運用となっている箇所は説明を強調する等、先行審査プラントとの差異が明確となるように差異理由の記載を充実化した。	2022/8/24	
16	保-0004-2	原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-1,2,3,4,5,12抜粋】	15, 16	女川では、適用される原子炉の状態に従い、(2)確認事項3項の運転確認終了後からLCO適用となることから、柏崎で実施している待機状態となる前の確認が不要であることを差異理由に明記した。 また、女川では高圧時と低圧時で確認する流量が同じであるため、流量、揚程を確認値としていることを差異理由に明記した。	2022/8/24	
17	保-0004-2	原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-1,2,3,4,5,12抜粋】	27, 28	女川では、低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力高についても要素として設定している理由を差異理由欄へ記載を追加した。	2022/8/24	
18	保-0004-2	原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-1,2,3,4,5,12抜粋】	33, 34	主蒸気逃がし安全弁11個のうち、6個ある主蒸気逃がし安全弁(自動減圧機能)に対して、高圧窒素ガス供給系(非常用)または代替高圧窒素ガス供給系による窒素供給が可能な弁数の内訳を差異理由欄へ記載を追加した。	2022/8/24	
19	保-0004(改1)	原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)	46,123,124	女川の復水移送ポンプの性能確認については、ポンプ1台及び2台における流量、揚程を確認することとしており、柏崎刈羽と実質的な相違であることから、(2)確認事項の差異理由を追記した。 また、「66-6-1 代替格納容器スプレイ冷却系(常設)」の確認事項についても、低圧代替注水系(常設)(復水移送ポンプ)と同様に2台運転時における流量、揚程を確認する記載に修正した。	2022/9/28	
20	保-0004-2	原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-1,2,3,4,5,12抜粋】	50	女川では系統構成に必要な弁について、運転中の動作確認が可能であることから、1ヶ月に1回の頻度で実施することとしており、柏崎刈羽と実質的な相違であることから、(2)確認事項の差異理由を追記した。	2022/8/24	
21	保-0004-2	原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-1,2,3,4,5,12抜粋】	53	遠隔手動操作設備の評価を設工認の段階で見直し済であることが分かるよう、(1)運転上の制限の差異理由に追記した。	2022/8/24	

No.	資料番号	資料名	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
22	保-0004-2	原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-1,2,3,4,5,12抜粋】	55	(3)要求される措置A1にて確認する非常用ディーゼル発電機に高圧炉心スプレイ系のディーゼル発電機が含まれないことが明確となるよう記載を見直した。	2022/8/24	
23	保-0004-2	原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-1,2,3,4,5,12抜粋】	99	女川は代替交流電源がLCO対象設備に含まれていない理由を差異理由に追記した。	2022/8/24	
24	保-0004-2	原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-1,2,3,4,5,12抜粋】	117	「ドライウェル点検」,「格納容器点検」については、同義であるが、保安規定上の記載については、従前から記載している「ドライウェル点検」で用語を統一して記載する。	2022/8/24	
25	保-0004-2	原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-1,2,3,4,5,12抜粋】	100, 101	原子炉格納容器フィルタベント系と同等の機能を持つ重大事故等対処設備がない理由について、差異理由に追記した。	2022/8/24	
26	保-0004-2	原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-1,2,3,4,5,12抜粋】	117	プラント停止時に窒素雰囲気から空気置換にかかる時間を記載し、高温停止までの火災防護対策としての説明の充実化をした。	2022/8/24	
27	保-0004-2	原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-1,2,3,4,5,12抜粋】	102	耐圧強化ベント系放射線モニタについて、女川ではLCO対象設備として記載していない理由について、差異理由に追記した。	2022/8/24	
28	保-0004-2	原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-1,2,3,4,5,12抜粋】	105	女川はLCO対象設備に常設代替交流電源設備、燃料補給設備を含めている理由を差異理由に追記した。	2022/8/24	
29	保-0004-4	原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-4,8,10,11,12,13,14,15,17,18抜粋】	15~19	「低圧代替注水系」について、保安規定第39条(運転,起動,高温停止)と40条(冷温停止,燃料交換)の2つに分けて適用される原子炉の状態を整理していることが分かるよう明確化した。合わせて「常設代替直流電源設備及び可搬型代替直流電源設備」についても同様に明確化した。	2022/9/21	
30	保-0004-4	原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-4,8,10,11,12,13,14,15,17,18抜粋】	119~123	「使用済燃料プール監視設備」のうち直流電源負荷である「使用済燃料プール水位/水温(ヒートサーモ式)」及び「使用済燃料プール上部空間放射線モニタ(低線量・高線量)」について、「所内常設蓄電式直流電源設備」及び「常設代替直流電源設備」から給電可能であることが分かるよう、資料を追加した。	2022/9/21	
31	保-0004-4	原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-4,8,10,11,12,13,14,15,17,18抜粋】	88	125V充電器が動作不能の場合の確認対象設備が明確となるよう、以下注釈を追加した。 「※3:125V充電器A系が動作不能の場合は、非常用ディーゼル発電機B系とし、125V充電器B系が動作不能の場合は、非常用ディーゼル発電機A系とする。」 「※4:125V充電器2Aが動作不能の場合は、125V充電器2Bおよび125V代替充電器とし、125V充電器2Bが動作不能の場合は、125V充電器2Aおよび125V代替充電器とする。」	2022/9/21	

No.	資料番号	資料名	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
32	保-0004-4	原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-4,8,10,11,12,13,14,15,17,18抜粋】	112	予備充電器を系統図へ追加した。	2022/9/21	
33	保-0004-4	原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-4,8,10,11,12,13,14,15,17,18抜粋】	75,76,88,95,96	非常用ディーゼル発電機の起動台数及び確認対象となる非常用ディーゼル発電機が明確となるよう以下条文について、修正した。 66-2-1, 2-3, 4-1, 4-2, 4-3, 5-1, 5-2, 5-3, 5-4, 5-5, 6-1, 6-2, 7-1, 7-2, 7-3, 8-1, 12-1, 12-2, 12-4, 12-5, 14-1, 19-1	2022/9/21	
34	保-0004-4	原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)【66-4,8,10,11,12,13,14,15,17,18,19抜粋】	124	「代替所内電気設備」の設備名称との対応関係が分かるよう、系統図に設備名称を追記した。 緊急用高圧母線2F系:「6.9kV M/C 6-2F-1」, 「6.9kV M/C 6-2F-2」 緊急用高圧母線2G系:「6.9kV M/C 6-2G」 緊急用動力変圧器2G系:「動力変圧器6-2PG」 緊急用低圧母線2G系:「460V P/C 4-2G」, 「460V R/B MCC 2G-1」, 「460V R/B MCC 2G-2」 緊急用交流電源切替盤1G系:「460V原子炉建屋交流電源切替盤2G」, 「120V原子炉建屋交流電源切替盤2G」 緊急用交流電源切替盤2C系:「460V原子炉建屋交流電源切替盤2C」 緊急用交流電源切替盤2D系:「460V原子炉建屋交流電源切替盤2C」	2022/9/21	
35	保-0002(改4)	新規制基準に係る保安規定変更認可申請の補正について	9	66条(SA設備)の要求される措置のB, C, D, γ設備の定義について、頁下部に記載した。	2022/9/7	
36	保-0002(改4)	新規制基準に係る保安規定変更認可申請の補正について	2, 3, 5, 6, 7, 9	先行BWRの保安規定と同様の記載内容である場合、その旨を当該頁の上部に明記した。	2022/9/7	
37	保-0002(改4)	新規制基準に係る保安規定変更認可申請の補正について	10	直流駆動低圧注水系ポンプの説明について、基本方針と相違ないことを柱とした記載とした。	2022/9/7	
38	保-0002(改4)	新規制基準に係る保安規定変更認可申請の補正について	10, 11, 18, 58~64	代替するDBA設備の保安規定条文を資料に追記した。 また、説明事項に関連する設備について、系統図や単線結線図を資料に追記した。	2022/9/7	
39	保-0001(改3)	新規制基準保安規定変更に係る論点の整理について	1, 3	論点の抽出フローの分類4に示す、「説明が必要な事項(論点)」として抽出した理由について追記した。	2022/9/7	

No.	資料番号	資料名	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
40	保-0004 (改1)	原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)	180, 290	【66-16-2】 (3)要求される措置の「代替電源設備」としている理由(電源車(緊急時対策所用)と記載しない理由)について、「代替電源設備」とは、ガスタービン発電機及び電源車により多様性を有することから、ガスタービン発電機、ガスタービン発電設備軽油タンク、タンクローリ、軽油タンク、ガスタービン発電設備燃料移送ポンプ、ガスタービン発電機接続盤、緊急用高圧母線2F系、電源車(緊急時対策所用)、緊急時対策所軽油タンクレベル及び緊急時対策所用高圧母線J系を含んでいることを差異理由に追記した。 なお、「66-16-2 緊急時対策所の代替電源設備」にガスタービン発電設備軽油タンク、タンクローリ、軽油タンク、ガスタービン発電設備燃料移送ポンプが含まれることを踏まえ、「66-12-1 常設代替交流電源設備」の注釈1について、記載位置の見直しを行った。	2022/9/28	
41	保-0004 (改1)	原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)	297~299	【66-16-1】 空気ポンプ及び空調設備による正圧化に必要なバウンダリの範囲を明確化した。 併せて、緊急時対策所の範囲を明確化した。	2022/9/28	
42	保-0004 (改1)	原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)	280	【66-16-1】 乾電池内蔵型照明について、保安規定第17条の6(資機材等の整備)で管理することを差異理由に追記した。	2022/9/28	
43	保-0004 (改1)	原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)	341	【66-19-1】 注水用ヘッダ及び可搬型ストレナを概要図に追記した。	2022/9/28	
44	保-0004 (改1)	原子炉施設保安規定変更に係る説明資料(66条 先行BWRプラントとの比較表)	314, 315	【66-19-1】 柏崎は、大容量送水車(熱交換器ユニット用)を別に設けていることから、可搬型代替注水ポンプ(A-2級)については除外規定を設けているが、女川は「66-5-4 原子炉補機代替冷却水系」と「66-11-3 海水供給設備」にも大容量送水ポンプ(タイプI)を使用することから、66-5-4及び66-11-3と同様に適用される原子炉の状態を常時適用としていることを差異理由に追記した。	2022/9/28	
45	第1072回 審査会合 資料2-1	新規制基準に係る保安規定変更認可申請の補正について	49,51	【参考3】66条関係(SA設備のLCO/AOT)設定一覧において、「※4:再補正にて変更予定」の記載を削除した。	2022/9/15	
46	第1072回 審査会合 資料2-1	新規制基準に係る保安規定変更認可申請の補正について	11	「可搬型代替直流電源設備(250V充電器)による給電」の単線結線図において、負荷切離し箇所の凡例の文字が見えるよう修正した。 また、「常設代替直流電源設備(250V蓄電池)による給電」の単線結線図において、各負荷を切り離すことが分かるよう記載を修正した。	2022/9/15	
47	第1072回 審査会合 資料2-1	新規制基準に係る保安規定変更認可申請の補正について	20	可搬ポンプユニットによる水位低下措置の完了時間19時間の根拠を注釈に追記した。	2022/9/15	
48	第1072回 審査会合 資料2-1	新規制基準に係る保安規定変更認可申請の補正について	65	運転上の制限を適用する期間の変更後を示す図において、「制御棒全挿入」のタイミングを図に追記した。	2022/9/15	

No.	資料番号	資料名	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
49	第1072回 審査会合 資料2-1	新規制基準に係る保安規定変更認可 申請の補正について	65	LCO適用期間変更の目的について、「格納容器の窒素置換による火災防護対策」であることが分かるようにタイトルに追記した。	2022/9/15	
50	第1072回 審査会合 資料2-1	新規制基準に係る保安規定変更認可 申請の補正について	65	原子炉を起動する時の運転上の制限の除外期間について、起点が分かるよう以下の通り、修正した。 「(1)原子炉を起動する時にドライwel点検を実施する場合であって、原子炉の状態が起動以降、運転になってから24時間後までの期間。」	2022/9/15	
51	第1072回 審査会合 資料2-1	新規制基準に係る保安規定変更認可 申請の補正について	全体	文字の色分けについて、重要な箇所を踏まえた色塗りに修正した。	2022/9/15	
52	第1072回 審査会合 資料2-1	新規制基準に係る保安規定変更認可 申請の補正について	33	【参考1】変更に係る説明事項(論点)の抽出について、抽出理由の記載における、基本方針と相違している箇所の記載について修正した。	2022/9/15	
53	保-0004 (改1)	原子炉施設保安規定変更に係る説明 資料(66条 先行BWRプラントとの比較 表)	148	【66-9-2】 ※1の「使用済燃料プールまでの配管」にスプレインズルまでの配管が含まれることが分かるよう以下の通り、修正した。 「※1:当該系統に期待されている機能を達成するためのスプレインズルまでの配管、系統構成に必要な手動弁および接続口を含む。」	2022/9/28	
54	保-0004 (改1)	原子炉施設保安規定変更に係る説明 資料(66条 先行BWRプラントとの比較 表)	132	【66-7-2】 (2)確認事項における、代替循環冷却ポンプの設置台数が1台であることを踏まえた記載表現に修正した。	2022/9/28	
55	保-0004 (改1)	原子炉施設保安規定変更に係る説明 資料(66条 先行BWRプラントとの比較 表)	136,137	【66-5-5】、【66-7-2】 代替循環冷却ポンプのメカニカルに原子炉補機代替冷却水系から供給していることが分かるよう概要図に追記した。	2022/9/28	
56	保-0004 (改1)	原子炉施設保安規定変更に係る説明 資料(66条 先行BWRプラントとの比較 表)	142~144	【66-8-2】 (1)運転上の制限に記載の「原子炉建屋水素濃度監視設備」の名称について、設置変更許可申請書を踏まえた記載であることが分かるよう、66-8-2に別紙を追加した。	2022/9/28	
57	保-0004 (改1)	原子炉施設保安規定変更に係る説明 資料(66条 先行BWRプラントとの比較 表)	244	【66-13-1】 柏崎の代替パラメータ「格納容器内圧力(D/W, S/C)」、「サブプレッション・チェンバ・プール水位」について、女川に記載しない理由を差異理由欄に追記した。	2022/9/28	
58	保-0004 (改1)	原子炉施設保安規定変更に係る説明 資料(66条 先行BWRプラントとの比較 表)	256	【66-13-1】 柏崎の代替パラメータ「復水補給水系流量(RHR A系, B系代替注水流量)」、「残留熱除去系系統流量」について、女川に記載しない理由を差異理由欄に追記した。	2022/9/28	
59	TS-77 (改3)	復水貯蔵タンクの維持管理について	12	補足3「3. 要求される措置の成立性」において、第40条の要求される措置B1.及びC1と第66条(66-11-1)の要求される措置A2.が相反しないことについて、有効燃料頂部以下の高さで原子炉圧力容器に接続するPLR配管, CUW配管等の隔離弁についての影響を含め記載を充実化した。	2022/9/28	